

以下の文章は、前田健太郎『女性のいない民主主義』(岩波新書, 2019年)から一部を抜粋し、出題用に編集を加えたものである。この文章を読んで、後の問いに答えなさい。

**この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。**

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

**この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。**

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

**この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。**

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

**この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。**

問 1 下線部①に関連して、シュンペーターの民主主義の定義とダールのポリアーキーという考え方とでは、普通選挙の位置付けがどのように異なるか、200字以内で説明しなさい。

問 2 下線部②「政治家が、自分の支持者を代表している」と言うとき、この代表を筆者の言う実質的 대표と考える場合と描写的代表と考える場合で、どのような意味の違いが出てくるか、140字以内で説明しなさい。

問 3 「各政党は国会議員の選挙において候補者の半数を女性とすることを義務付ける」という考え方について、賛成か反対かを、問題文で示された「民主主義」や「代表」についての考え方と関連付けながら、理由を挙げて500字以上600字以内で論評しなさい。